	製 品 仕 様		FZ01-375A1	1/3
	デジタル式自記圧力計用 通信ユニット		型式	TX307

本製品は、通信機能付デジタル式自記圧力計およびガス警報ユニットと接続し、LTE-M（LTE Cat. M1）通信回線にてセンター装置とデータ伝送を行います。

1. 型 式

TX307-1（LTE 用通信仕様）

TX307-2（中継用通信仕様）

2. 仕 様

防 爆 構 造：本質安全防爆構造（本安関連機器）（[Ex ib] IIA）

表 示：2 色 LED（緑色／赤色）LED ×1 点

①電源投入時 ②電波状況の確認 ③電池交換時

④動作状態の確認 ⑤電源投入時の電池電圧検出時

ス イ ッ チ：動作確認スイッチ／動作停止スイッチ の 2 種類

使 用 電 池：単一形アルカリ乾電池 8 本（4 本直列×2 並列）

※防爆規定上、パナソニック製アルカリ乾電池（LR20XW、又は LR20XJ）以外使用不可

電 池 交 換 頻 度：TX307-1（LTE 用通信仕様）：約 15 ヶ月

TX307-2（中継用通信仕様）：約 15 ヶ月

ただし、通信ユニットの電池電圧低下アラームは、上記の期間より約 2 ヶ月を目安として早く発呼、もしくは LED 表示されます。

◇使用条件

1）温度条件：平均気温 20℃環境下による

2）通信条件：下記による。

・3 分トレンドデータ要求通信：1 回／1 週間

・センターポーリング通信、および端末発呼通信：1 回／2 日

・デジタル式自記圧力計側の圧力センサー接続本数：4 本


・LTE-M 通信の電波状況が良好（電波環境表示で緑色 LED が 2 回点滅）以上の環境下に設置。

※各通信リトライがない場合

※上記以上の通信頻度で使用する、あるいは上記以下の電波環境下に設置すると電池寿命が短くなります。

◇参考条件

上記使用条件の 3 分トレンドデータ要求通信を 1 回／1 日実施した場合、電池交換頻度は約 14 カ月

	製 品 仕 様		FZ01-375A1	2/3
	デジタル式自記圧力計用 通信ユニット		型式	TX307

使 用 環 境：－10～＋50℃ 85%RH 以下（結露無きこと）

保 存 環 境：－15～＋60℃ 85%RH 以下（無通電で保存、結露無きこと）

耐 久 性：10 年（＋20℃、65%RH の環境下の場合）※アルカリ乾電池は除く

設 置 環 境：屋外（通信ユニット本体、電池ボックスを防雨ケース内に収納した状態でご使用ください）

外 部 接 続 機 器：デジタル式自記圧力計、およびガス警報ユニットと専用のケーブルで接続

デジタル式自記圧力計：DA305・DA306・DA307・DA308・DA307N・DA308N

ガス警報ユニット：GA307・GA308

外 形 寸 法：防雨ケース：446(H)×480(W)×165(D) [mm]※ 設置用金具・ケーブルグランド含む
プラボックスのみ：419(H)×425(W)×161(D) [mm] ※扉開時：827(W)

質 量：6.5kg（防雨ケース使用時・乾電池を含む、ケーブル類は除く）

付 属 品：1）通信用ケーブル※1、※2・・・・・・ 1 本

※1 10m（標準）／50cm／1m／5m／6m／15m／20m／30m／50m／60m／70m／100m
のいずれかを選択

※2 TX307-2 は中継用ケーブルが付属します（長さの選択は上記※1 と同じ）

2）単一形アルカリ乾電池・・・・・・ 8 個 ※LR20XW パナソニック製

3）アンテナ・・・・・・ 1 個 ※TX307-1 のみ付属 ケーブル長：2m

4）設定情報ラベルシール・・・・・・ 2 部 ※TX307-1 のみ付属

5）六角レンチ・・・・・・ 1 個

6）取扱説明書・・・・・・ 1 部

7）防雨ケース・・・・・・ 1 個 ※IP44（防雨構造）

8）シリンダーキー・・・・・・ 1 個 ※防雨ケースの鍵

3. LTE 通信【TX307-1 のみ】

通 信 方 式：LTE-M (Cat.M) 通信

通 信 キ ャ リ ア：NTT ドコモ

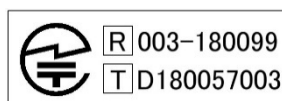
S I M カ ー ド：Plug-in 2FF (Mini-SIM)、CLASS C (1.8V) 対応


ETSI「TS 102.221 V8.2.0」準拠

無 線 周 波 数：2GHz (B1)／800MHz (B19)

送 信 電 力：20dBm (100mW) /23dBm (200mW)

通信モジュール技術基準適合証明



	製 品 仕 様	FZ01-375A1		3/3
	デジタル式自記圧力計用 通信ユニット	型式	TX307	

4. 取扱注意事項

- 1) 本製品は屋外設置仕様です。ガバナ室や特定製造所などの危険場所（可燃性ガスが滞留する恐れのある場所）へ設置することはできません。しかしながら、本質安全防爆構造（本安関連機器）を取得しているため、危険場所に設置されているデジタル式自記圧力計ならびにガス警報ユニットと接続することは可能です。
- 2) 防雨ケースを壁面に取付けるためのネジ（M10：4箇所）およびアンテナ取付け用ネジ（M3：2箇所）は別途ご用意ください。
- 3) ケーブルクランプは取扱説明書記載の要領に従い、正しく取り付けてください。
- 4) 電池交換を行う場合は、通信ユニットから電源コネクタを外してから交換してください。
- 5) NTT ドコモのサービスエリアマップ（URL：<https://www.nttdocomo.co.jp/area/>）にアクセスし、設置場所がLTE-M通信可能であることを確認してください。サービスエリアマップにて設置の可否が判断できない場合は、最寄りのNTT ドコモまでお問い合わせください。
- 6) 当社製LTE-M用遠隔監視装置の販売はありません。エヌ・ティ・ティテレコンの共同センターを推奨いたします。共同センター加入ご検討のお客さまには当社営業からテレコン担当営業をご紹介します。テレコンを回線契約者とする料金プラン（IoT-GBプラン）を用意しております。詳細はエヌ・ティ・ティテレコンにお問合せください。
- 7) 共同センター以外をご検討のお客さまは、遠隔監視装置システム導入が必要です。メーカーと導入スケジュールを相談してください。インフラ回線としてNTT ドコモの「アクセスプレミアムlte」サービスを申し込んでください。
- 8) 通信ユニットの注文にあわせてお客さま名義でNTT ドコモの「LTE（IoTプラン）」回線契約手続きを行ってください。通信ユニットの台数と同数のLTE回線契約を行ってください。手続きの中で上述のアクセスプレミアムlteのネットワークに入る旨を伝えてください。
- 9) LTE回線申込み手続き完了後、NTT ドコモより提供されるネットワーク情報を本製品の設定に使用させていただきます。
- 10) 本製品に設定したネットワーク情報を設定情報ラベルシール2部に印字します。1部を防雨ケース扉の扉内部に貼付け出荷します。もう1部はお客さまの現場管理用として大切に保管してください。
- 11) 出荷後、本製品に初めて電源を投入したタイミングでの料金課金が一般的です。納入後に在庫保管を予定されている場合は課金開始条件についてNTT ドコモにお問合せください。
- 12) 本製品には外部接点入力端子はありません。外部接点入力を行う場合は別売りのガス警報ユニットGA307（都市ガス用）またはGA308（LPガス用）が必要です。また、接点入力が2点または3点の場合はガス警報ユニットおよび警報用接続箱TA307-2が必要になります。